



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1128 2018年6月25日

ARIBの動き

ITU-R WP5D 第30回会合の概要

ITU-R SG5 Working Party 5D (WP 5D) 第30回会合が開催されましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日程：2018年6月13日(水)～20日(水)
- 2 場所：Hotel Paradisus Cancun (メキシコ・カンクン)
- 3 出席者：33か国、34団体から約196名が参加 (日本はARIB 西岡理事を団長に15名が参加。ARIBからは西岡理事以下3名が参加)
- 4 会合の主要結果：



WP5D 第30回オープニングプレナリの様子

今会合における主要な結果は以下のとおりです。

- (1) 3GPP および中国から、IMT-2020 無線インタフェースの提案に向けた更新情報が入力されたため、入力履歴を記載する IMT-2020 文書 (IMT-2020/3,4 および 5) を更新しました (韓国については更新がなかったことを記載)。また、ETSI/DECT Forum および TSDSI (インド) も初期提案の入力を行ったため、他の提案者と同様に IMT-2020 文書 (IMT-2020/6 および 7) を作成しました。今回会合での入力状況を提案者、外部評価団体に連絡するリエゾン文書も作成しました。
- (2) AH-WORKPLAN 議長から、2019年7月の WP 5D 第32回会合中に IMT-2020 評価に関するワークショップを開催する提案があり、10月の WP 5D 第31回会合でワークショップの内容を詰めることとしました。
- (3) IMT-2020 無線インタフェースの評価に関して、TTA からシミュレータ、北京郵電大学からチャンネルモデルの更新情報が提供されたため、IMT-2020 評価用のウェブサイトの情報共有することになりました。
- (4) Lバンドの IMT と放送衛星業務 (BSS) システムとの共存検討 (WRC-19 議題 9.1、課題 9.1.2) に関する CPM テキスト草案には、WRC-19 で検討すべき規制事項のアクションが取りまとめられていますが、現状は選択肢が多く、記載レベルが統一されていないため、日本、フランスから、想定される規制事項のアクションの構成変更を共同提案し、審議を行いました。その結果、共同提案に記載した全アクションを維持しつつ、中国が主張した2つのアクション (①衛星、IMT 共に電力束密度 (PFD: Power Flux Density) 制限値を設定するアクション、②衛星、IMT 共に調整しきい値を規定するアクション) を追加する等の妥協が図られ、WP 5D の所掌に関する CPM テキスト草案を最終化し、BSS (sound) 受信機の保護の観点から検討を行っている WP 4A へリエゾン文書を発出しました。

- (5) 2.1GHz帯地上IMTと衛星コンポーネントの共存検討(WRC-19議題9.1、課題9.1.1)に関するCPMテキスト草案は、米国によるMTC(Machine Type Communication)に関する記載、衛星側の干渉軽減要素に関する記載、規制的事項に触れるConclusion部の記載等、論点が多岐に渡るため、米国とその他の国およびセクタメンバ間で議論が紛糾しましたが、Conclusion部において規制面の扱いに関する異なる両者の見解を注記として記載し、CPM19第2回会合(CPM19-2)での対処を要請するテキストを加えてWP5Dの所掌に関するCPMテキスト草案を最終化し、WP4Cヘリエゾン文書を発出しました。
- (6) 日本から提案を行ったHAPS(High Altitude Platform Station: 高高度プラットフォームステーション)のIMT基地局利用に係る技術・運用面のガイダンスに関する勧告/報告作成作業の開始については、米国が世界無線通信会議(WRC: World Radiocommunications Conference)の新議題につながる可能性があることと懸念を示し、また米国、イラン等から既存のHAPSに係る勧告の改訂作業から検討すべき、との見解が示されました。審議の結果、IMT-2000を提供するHAPSの最小性能特性と運用条件に係る既存の勧告M.1456の改訂を行う作業計画が合意され、10月のWP5D第31回会合から審議されることとなりました。
- (7) MTC(Machine Type Communication)の技術・運用条件の検討(WRC-19議題9.1、課題9.1.8)に関するCPMテキスト案は、既存のIMT特定帯域でMTCは柔軟に構築可能という点では合意していましたが、具体的な周波数情報(700MHz帯の3MHz×2)を明記したいUAEと、明記すべきでないというインドとの間で、意見が対立しました。審議の結果、作成中の報告案M.[IMT.MTC]を参照するテキストを追加することで譲歩しCPMテキスト案を最終化し、WP1BおよびWP5Aヘリエゾン文書を発出しました。
- (8) WP7AからUTC(Coordinated Universal Time)の変更がIMTシステムに与える影響を問い合わせるリエゾン文書が届いていたため、専門家からの情報を踏まえた日本および米国の寄書を基に回答リエゾン文書を作成し、WP7Aに発出しました。

5 次回会合スケジュール:

次回の第31回会合は、2018年10月9日～16日に、日本で開催予定です。

第265回技術委員会(通信分野)を開催

第265回技術委員会を開催しました。

1 日時: 平成30年6月20日(水) 午後3時30分から4時25分まで

2 場所: 当会第2会議室

3 議題

- (1) 気象レーダー調査研究会の設置について
- (2) ITU-R SG5 TG 5/1 第5回会合の概要について
- (3) CJK IMT WG 第52回会合の概要について
- (4) 第5回グローバル5Gイベントの概要について
- (5) 5G時代のスマートフォンユーザー動向に関する第2回日本・台湾合同ワークショップの概要について
- (6) 周波数資源開発シンポジウム2018の開催について
- (7) 各社からのトピックス

テラヘルツ調査研究会 第3回会合を開催

テラヘルツ波通信/センシングシステムの早期実用化に向け、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究することを目的とするテラヘルツ調査研究会の第3回会合が、6月21日に開催されました。

第3回会合においては23名が参加し、テラヘルツ通信の代表的ユースケースとして選定した「チップ間・ボード間通信」と「ドローン-地上間通信」のそれぞれについて、適用分野とその現状認識および今後優先的に検討すべき事項等に関して活発な討議が行われ、ビジネス化を提案していくために必要な検討作業の進め方や作業分担の申し合わせが行われました。次回会合は8月下旬に開催される予定です。

今週の ARIB 内会合(6月25日~6月29日)

- 6月27日(水) 規格会議 sXGP 作業班
- 6月27日(水) 第8回定時総会、第23回理事会
- 6月27日(水) 第29回電波功績賞表彰式・祝賀会(ホテルニューオータニ)
- 6月29日(金) スタジオ設備開発部会 HDR 番組制作・運用 AdHoc

今週の国際会合(6月25日~6月29日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

新世代モバイル通信システム委員会報告(案)に対する意見募集 — 第5世代移動通信システム(5G)の技術的条件 — 【平成30年6月15日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 新世代モバイル通信システム委員会(主査:森川 博之 東京大学大学院 工学系研究科 教授)は、第5世代移動通信システム(5G)の技術的条件について委員会報告(案)を取りまとめましたので、平成30年6月16日(土)から同年7月17日(火)までの間、以下の要領で意見を募集しています。

詳細については[【平成30年6月15日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案に係る意見募集 【平成30年6月18日発表】

総務省では、3,400MHz から 3,600MHz までの周波数共用の促進を図るため、電波法関係審査基準の一部を改正する訓令案を作成しました。

つきましては、当該改正案について、平成30年6月19日(火)から同年7月18日(水)までの間、意見を募集しています。

詳細については[【平成30年6月18日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp